

第84期 第2四半期 株主報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



西部電機株式会社

証券コード 6144



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第84期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

平成28年12月

取締役社長 **宮地敬四郎**
Keishiro Miyaji

「チャレンジ200」の達成に

Q 当第2四半期の決算のポイントについて教えてください

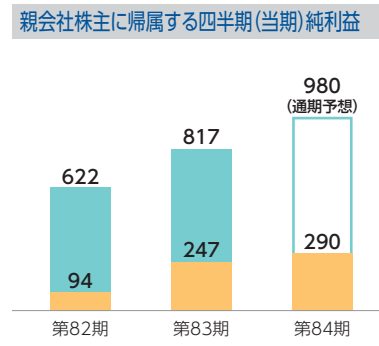
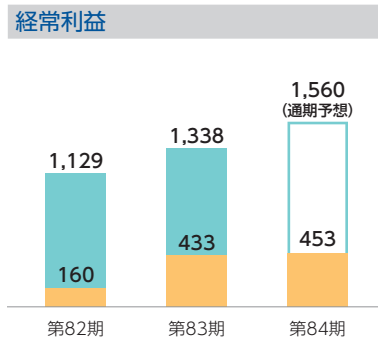
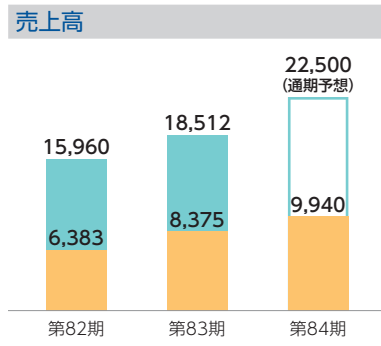
A 大口物件の納入等により、前年同期比増収増益となりました

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の減速や英国のEU離脱問題により、円高や株安が進み、先行き不安が広がる局面もありましたが、雇用・所得環境の改善もあり、緩やかながらも回復傾向が続きました。しかしながら、依然として中国をはじめとする新興国経済の減速や円高の進行など懸念材料を抱えており、先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢の中で、2015年度から2017年度までの新中期経営計画「チャレンジ200」を策定し、当社グループはどのような環境下にあっても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいりました。

業績ハイライト ・ *Financial Highlights*

■ 第2四半期 ■ 通期 （単位：百万円・%）



向かって新市場に果敢に挑戦してまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高はゲート物件の増加がありましたものの、前期に受注したような大口物件がなく、また、円高により輸出が減少したこともあり、89億6千3百万円(前年同期比 29.3%減)となりました。売上高は大口物件の納入により、99億4千万円(前年同期比 18.7%増)となりました。また、損益においては、経常利益は4億5千3百万円(前年同期比 4.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億9千万円(前年同期比 17.1%増)となりました。

Q 下期へ向けての見通しはいかがですか？

A チャレンジ精神で新市場に果敢に挑戦し、市場競争を勝ち抜いてまいります

当社グループといたしましては、経済環境の変化を捉え、チャレンジ精神で新市場に果敢に挑戦し、市場競争を勝ち抜く所存であります。さらには、コストダウンや経費の削減に一層注力し、企業体質の強化と

着実な安定成長の確保に努めてまいります。

なお、通期の連結業績見通しとしては、売上高225億円(前期比 21.5%増)、経常利益15億6千万円(前期比 16.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益9億8千万円(前期比 19.8%増)を計画しております。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします

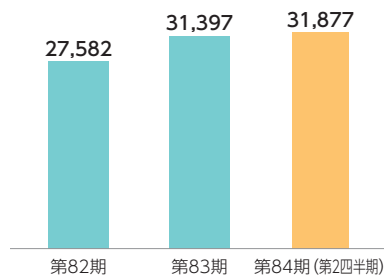
A 当第2四半期末の配当金は、前年同期比1円増配し、1株当たり7円とさせていただきます

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

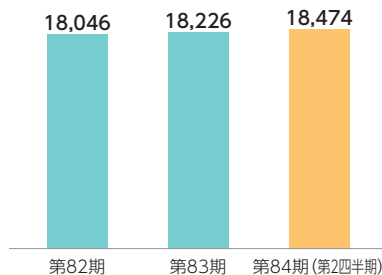
当第2四半期末の配当金は、1株当たり7円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

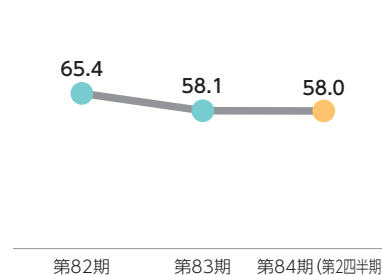
総資産



純資産

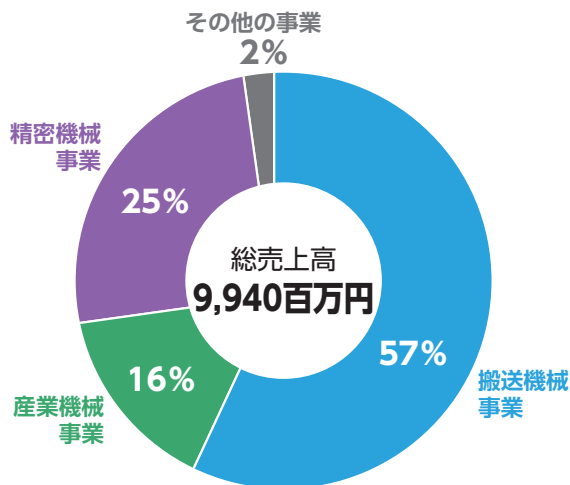


自己資本比率

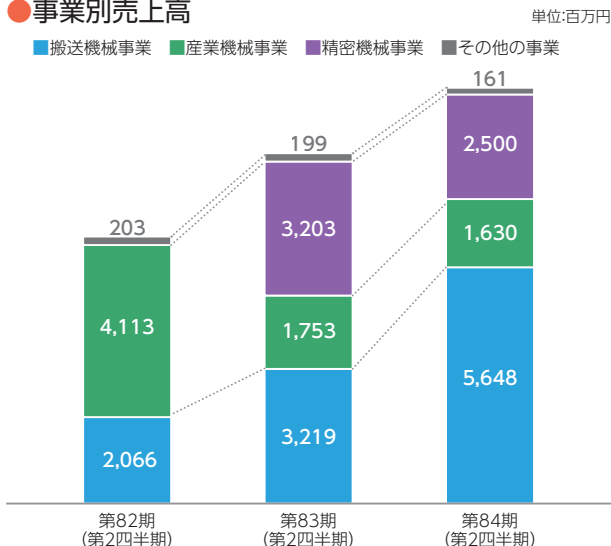


主要な事業別営業の概況 ・ *Operating Overview*

● 事業別売上高構成比



● 事業別売上高



当社は第83期(平成27年4月1日)より、産業機械事業部精密機械部門を独立させ、精密機械事業部とする組織変更を行っております。

搬送機械事業

売上高 **5,648百万円** (前年同期比 75.4%増)

搬送機械事業では、既存顧客からの大型システムのリピート受注、自動倉庫や製造業の生産・物流分野などに、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。

しかしながら、受注高は前期に成約したような大口物件がなかったこともあり、39億1百万円(前年同期比 31.9%減)、売上高は前期受注の大口物件が上期に納期をむかえたこともあり、56億4千8百万円(前年同期比 75.4%増)となりました。

主要商品

- 立体自動倉庫 ■ FAシステム ■ ケース自動ピッキングシステム
- ピースピッキングシステム ■ 搬送・ハンドリングシステム



TOPICS

国際物流総合展2016に出展

会期：2016年9月13日(火)～9月16日(金)

会場：東京ビッグサイト(東京国際展示場)



搬送機械事業では、『共に新たなステージへ～ロボティクス・マテハン®～』をテーマに、新たに開発した製品である「出荷オリコン積付システム」「ピースピッキングロボ」「出荷ラベル貼付ロボ」「電動アシスト台車」の4機種を出展いたしました。

『ロボティクス・マテハン®』とは、今日まで当社が培ってきた『メカトロメーション』と最新のロボット技術(RT)、さらには情報通信技術(ICT)などを積極的に組み込んだ新たなソリューションです。

少子高齢化やIoT時代の到来、ネット通販の普及等、世の中のトレンドが日々変革している中で、今回出展した機器は時代に即したソリューションであり、今後は新たなSEIBUブランドの柱として、受注の獲得と拡販を図ってまいります。



出荷オリコン積付システム

産業機械事業

売上高 **1,630**百万円 (前年同期比 7.0%減)

産業機械事業では、民間需要の掘り起こしやゲート分野を中心とした既存市場におけるシェアアップ、サービス・メンテナンスに注力してまいりました。

その結果、ゲート物件の引合いが増加し、受注高は25億4千7百万円(前年同期比 6.7%増)、売上高は16億3千万円(前年同期比 7.0%減)となりました。

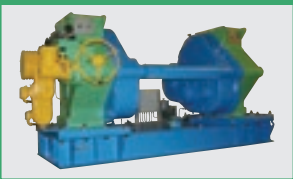
主要商品

■ バルブアクチュエータ ■ ゲート駆動装置

バルブアクチュエータ・プラント



ゲート駆動装置(大型60t)



TOPICS 世界最速・高精度「Semflex®-A100」(高速Type)バルブアクチュエータを開発

産業機械事業では、新日鐵住金株式会社各製鉄所殿向けコークス炉用バルブアクチュエータ「Semflex®-VP」に続き、圧延炉設備に使用する小型バルブアクチュエータ「Semflex®-A100(R5000)」の開発を行いました。

この製品は、国内外の圧延プラント設備を手掛けるD社からタイアップのオファーを受けて開発したもので、モータ回転数(5000rpm)で停止精度1/1000を誇る世界最速・高精度バルブアクチュエータです。

ベース機は「Semflex®-A100」(サーボ駆動)ですが、高速駆動に対応できるように、軸受け材質・摺動部品の改良を行うとともに、制御システムに



D社評価プラント風景

においては微量流体制御PID信号に敏感に反応する高精度比例制御機能を追加しました。

既に、新日鐵住金株式会社和歌山製鉄所殿より68台の受注を頂いており、今後もD社とタイアップし、拡販を図ります。

精密機械事業

売上高 **2,500**百万円 (前年同期比 21.9%減)

精密機械事業では、既存顧客の更新需要や海外市場の開拓に注力してまいりましたものの、円高による輸出の減少もあり、受注高は23億8千6百万円(前年同期比 45.4%減)、売上高は25億円(前年同期比 21.9%減)となりました。

主要商品

■ 超精密・高精密ワイヤ放電加工機 ■ 高精密小形NC旋盤
■ 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様) ■ 正面旋盤

超精密ワイヤ放電加工機(MEX15)



高精密2スピンドル複刃型NC旋盤(SNC-20PT)



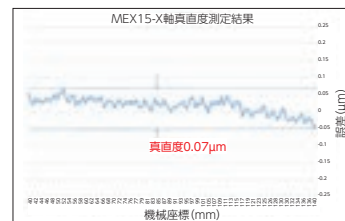
TOPICS 超精密ワイヤ放電加工機「MEX15」を開発

精密機械事業では、超微細加工分野への挑戦として、油仕様超精密ワイヤ放電加工機「MEX15」を開発しました。

この製品は門型構造・高性能ガイド・シールレス構造で、バーチャルロステーブルを採用し、X軸を100mm動かして0.07 μ mの真直度を実現しています。最小使用ワイヤ径は ϕ 0.03まで可能となり、細線ワイヤ対応の新型自動供給装置と新型テンション制御で、超精密微細加工を安定して行います。

また、大画面マルチタッチを採用した新型CNC装置、組込みCAD/CAMを搭載したことで、作図処理時間も短縮され、大幅な機能向上を実現しています。

今後も更なる超精密の「モノづくり」に挑戦し、拡販に努めてまいります。



連結財務諸表(要約) ・ Financial Statements

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

■ 第2四半期連結貸借対照表

科 目	第84期第2四半期	第83期
	平成28年9月30日	平成28年3月31日
資産の部		
流動資産	18,796	18,275
固定資産	13,080	13,121
有形固定資産	9,604	9,735
無形固定資産	12	13
投資その他の資産	3,464	3,372
資産合計	31,877	31,397
負債の部		
流動負債	10,330	10,022
固定負債	3,072	3,148
負債合計	13,403	13,171
純資産の部		
株主資本	14,054	13,885
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,616
利益剰余金	8,783	8,614
自己株式	△4	△4
その他の包括利益累計額	4,420	4,341
純資産合計	18,474	18,226
負債純資産合計	31,877	31,397

■ 第2四半期連結損益計算書

科 目	第84期第2四半期	第83期第2四半期
	平成28年4月1日から平成28年9月30日まで	平成27年4月1日から平成27年9月30日まで
売上高	9,940	8,375
売上原価	7,755	6,272
売上総利益	2,184	2,102
販売費及び一般管理費	1,761	1,697
営業利益	423	404
営業外収益	39	37
営業外費用	9	9
経常利益	453	433
特別利益	10	0
特別損失	1	0
税金等調整前四半期純利益	462	432
法人税、住民税及び事業税	57	148
法人税等調整額	115	36
四半期純利益	290	247
親会社株主に帰属する四半期純利益	290	247

■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第84期第2四半期	第83期第2四半期
	平成28年4月1日から平成28年9月30日まで	平成27年4月1日から平成27年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	313	2,987
投資活動によるキャッシュ・フロー	△813	△463
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135	△120
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△636	2,403
現金及び現金同等物の期首残高	7,753	6,403
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,117	8,807

平成28年9月30日現在

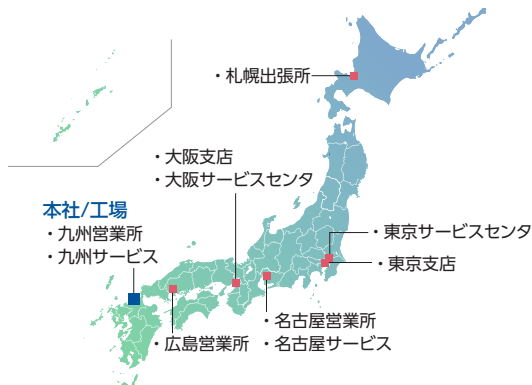
■ 会社の概況

商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	昭和14年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	425名(連結480名)

■ 役員

取締役社長(代表取締役)	宮地 敬四郎
専務取締役	藤岡 敬正
常務取締役	税所 幸一
取締役	中里 晋也
取締役	溝田 安彦
取締役	塩川 秀樹
取締役	佐藤 徳生
社外取締役	井上 信之
常勤監査役	大串 秀文
社外監査役	小西 正純
社外監査役	南 善勝

■ 事業所



■ 株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	1,273名

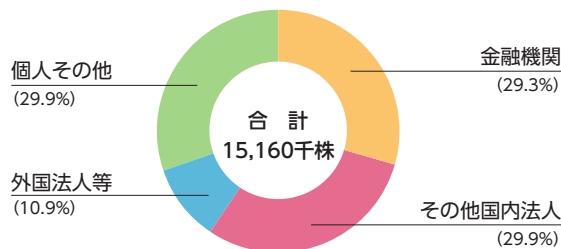
■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,537	10.1
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
CGML PB CLIENT ACCOUNT/ COLLATERAL	1,073	7.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
西部電機従業員持株会	410	2.7
MSIP CLIENT SECURITIES	293	1.9

(注) 1. 持株比率は自己株式(9,930株)を控除して計算しております。

2. シンプルクス・アセット・マネジメント株式会社から平成28年10月4日付で提出され、公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、平成28年9月27日現在同社が3,149,900株(保有割合20.78%)を保有している旨が記載されております。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

■ 所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<http://www.seibudenki.co.jp/>

または、

西部電機

検索

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合【特別口座の株主様】
お問合せ先	お取引の証券会社等になります。 (ただし、支払明細発行については、右記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。)	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所、プラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店にてお取扱いいたします。(みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	

【特別口座の株主様へご案内】

1.株式の売買について

「特別口座」では、単元株式の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。株券の電子化後に振替手続きを行っていない株主様は、上記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。

2.少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座で所有される場合、配当等を受取るには、証券会社等を通じて受取る「株式数比例配分方式」の手続きが必要となります。「特別口座」の株主様は「株式数比例配分方式」をご利用いただくことができませんので、別途手続きが必要となります。詳細は上記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。

表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬渓流の四季をモチーフに「自然随順」を表現しております。当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品をつくり、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。